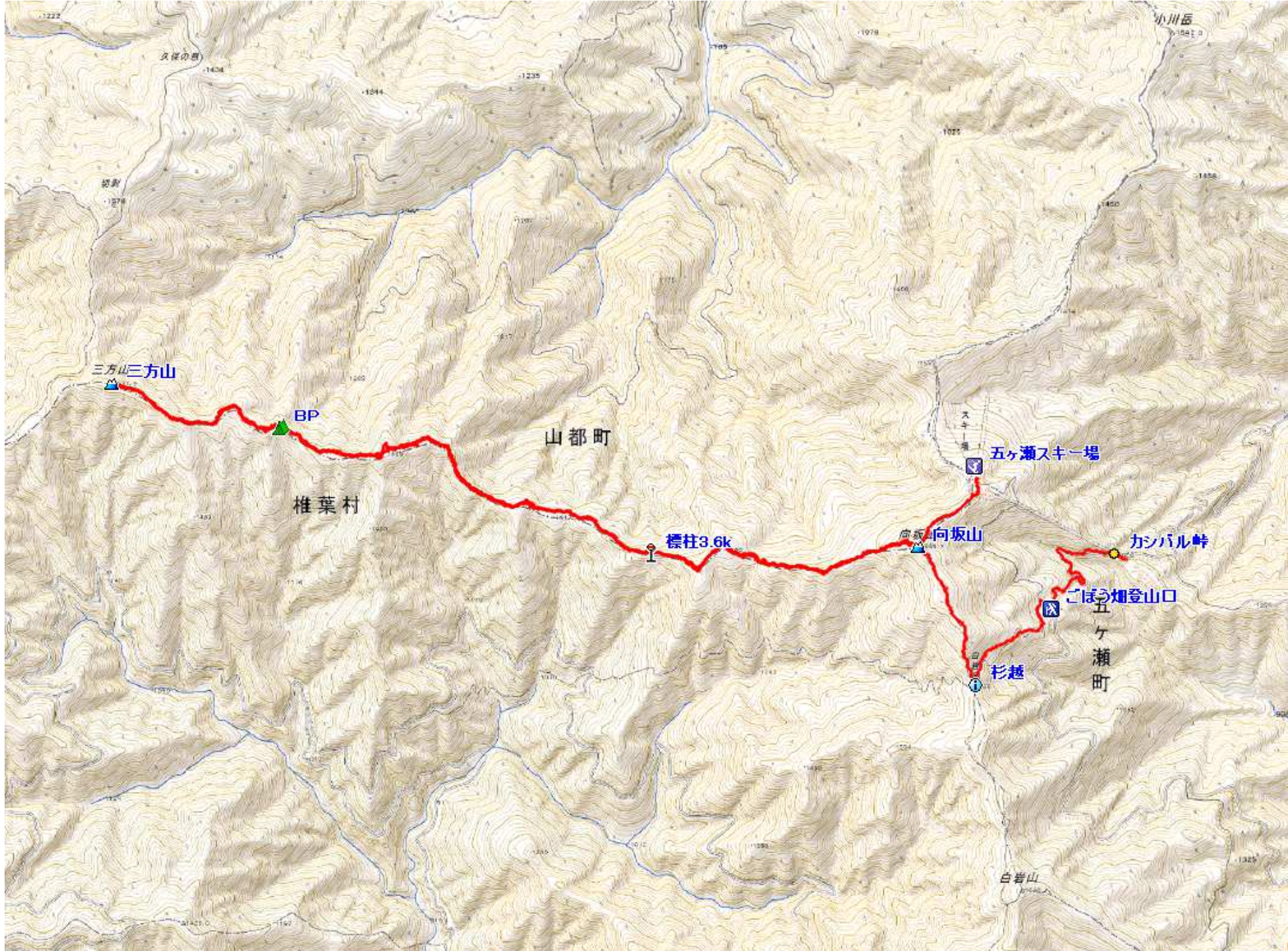


220216～ むこうざかやま さんぼうざん  
向坂山(1685m)～三方山(1578m)

17.1 km 1時間12分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです。



- 五ヶ瀬スキー場
- ↓ 0:29
- 向坂山(1685m)
- ↓ 1:11
- 標柱3.6k
- ↓ 2:13
- BP
- ↓ 0:51
- 三方山(1578m)
- ↓ 0:35
- BP
- ↓ 2:27
- 標柱3.6k
- ↓ 2:07
- 向坂山(1685m)
- ↓ 0:33
- 杉越
- ↓ 0:22
- ごぼう畑登山口
- ↓ 0:24
- カシバル峠

220216～ 向坂山(1685m)～三方山(1578m) 詳細図 左



220216～ 向坂山(1685m)～三方山(1578m) 詳細図 中



220216～ 向坂山(1685m)～三方山(1578m) 詳細図 右



向坂山(1685m)～三方山(1578m)  
2022.02.16(水)晴れ～17(木)晴れ

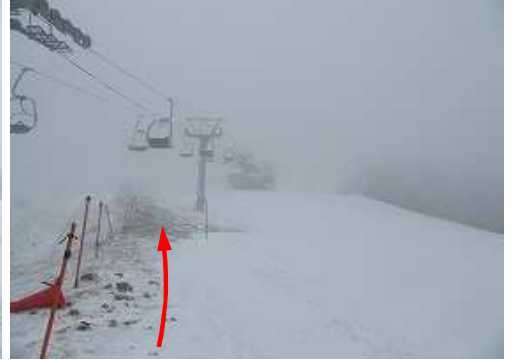
五ヶ瀬スキー場→向坂山(1685m)→標柱3.6k→BP→三方山(1578m)→BP→標柱3.6k→向坂山(1685m)→杉越→ごぼう畑登山口→カシバル峠



本屋敷Pに駐車し、シャトルバスでカシバル峠まで上り、入場リフトに乗る。



午前11時過ぎ、五ヶ瀬スキー場の標柱を見て歩き始める。



視界不良の中、スキー場のポールに沿って上って行く。



ゲートを通過する。



両側フェンスが続く積雪20cm程のササ道を進む。



2つ目のゲートを抜けると・・・



向坂山(1685m)に到着。視界が悪く展望は得られない。



西尾根へ踏み込む。



倒木を潜る。



標柱5.1kを見る。



膝下の雪を踏んで進む。



標柱4.6kを見る。



向坂山

北北東に向坂山を振り返る。



時折、青空が覗く。



南南西に白鳥山を望む。



進行方向の西には暗い雲が広がっている。



標柱3.6kを見る。



幹に巻かれたTR番号テープを見る。



サルノシカケが付着した枯死木を見る。



緩やかな尾根筋を行く。



進行方向の鈍頂尾根を行く。



岩場の左を巻き、アシビの急斜面を抜ける。



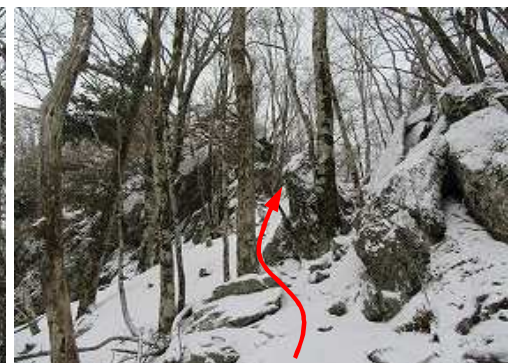
左に帰路立ち寄った展望岩の裾を行く。



テープを辿り尾根筋を進む。



前方に露岩が現れ、左側へ進み



斜上して抜ける



左上方に露岩の天女ヶ岩を見る。



急なクラフトした北斜面をエッジを効かせて斜上する。



埋もれた補点杭を見る。



傍にTR番号テープを見る。



BP適地を探しながら、暗い空の広がる尾根筋を進む。



歩いて来た東方向。



標柱1.0kを見る。



この先で、本日の行動を停止する。



昨夜の暴風雪も収まり、分水古桜付近に行く。



枝には樹氷が見られる。



新しく10cm程積もった尾根を西へ進む。



標柱0.6kを見る。



緩く上って行く。



幹番号58のTRテープを見る。



緩く上って行く。



樹氷トンネルを抜ける。



樹氷を見ながら緩く上って行く。



前方にピークが見えた。



三方山(1578m)に到着。



明治32年選定の三等三角点:三方がある。



周囲を樹氷した樹木で囲まれ展望は得られない。



此处で、切り上げ引き返す。



脱いだ自作スノーシューを回収する。



裂木を通過する。



更に埋もれた補点杭を通過する。



吹き溜まりでは50cm程積もっている。



弱いシュカブラが見られた。



尾根筋は飛ばされ積雪は少ない。

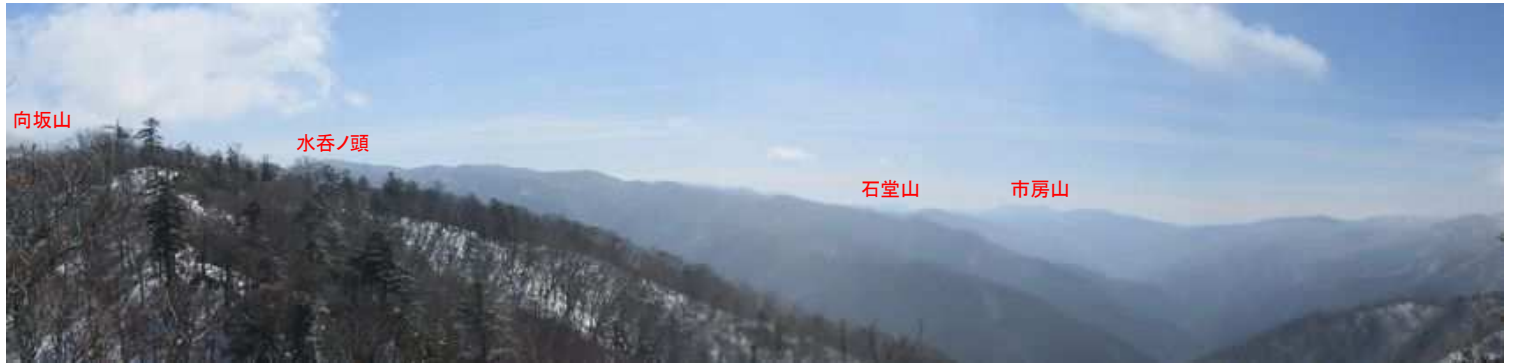


尾根筋の1496m展望地から東側の天女ヶ岩を見る。





下った斜面(1460m)展望地からの眺望。



展望岩からの眺望。



展望岩から南の市房山を望遠で撮る。



展望岩から南南西の白鳥山を望遠で撮る。



展望岩から東に向坂山を望む。



展望岩から南南西の眺望。



展望岩から200m程進んで西南西に国見岳を望む。



風の通り道に弱いシュカブラが見られる。



東に向坂山が見えている。



枯死木と青空。



南南西の展望。



西南西に国見岳を望遠で撮る。



標柱4.6kまで戻る。



波打つシュカブラ。



枯死木を見上げる。



標柱5.1kまで戻る。



東に向坂山の斜面が見える。



緩やかに斜面を上って行く。



倒木を潜る。



山頂が見えた。



再度、向坂山(1685m)に到着。



明治32年選定の三等三角点:向坂がある。



南南東の杉越へ下る。



ネット際を下って行く。



杉越到着。



傍に立つ標柱。



霧立越関所。



登山口へと下る。



一人の踏跡が残る雪道を下って行く。



ごぼう畑登山口を出る。



傍に立つ標柱。



カシバル峠へと下る。



カシバル峠の入場リフト乗り場が見えて来た。